

2020年6月11日～2022年3月31日の間に、

自主臨床研究「肺がん放射線治療の治療効果および有害事象発症の予測に關与するタンパク機能、RNA 発現の解析研究」へ参加された方へのお願い

研究機関名 札幌医科大学附属病院
研究機関長 土橋 和文

研究責任者: 札幌医科大学 放射線医学講座 准教授 染谷 正則

上記の期間中に、肺がんに対する化学放射線療法を受けられ、自主臨床研究「肺癌放射線治療の治療効果および有害事象発症の予測に關与するタンパク機能、RNA 発現の解析研究」へ参加された方への研究解析内容と情報公開についての変更のお知らせです。

1. 研究概要

1) 研究目的・意義・医学上の貢献

この研究では、血液から取り出したリンパ球やがん組織などに含まれるタンパクの機能や RNA 発現を調べ、肺がんの放射線治療による治療効果や副作用の出やすさや強さに、タンパクの機能や RNA 発現が関係しているかどうかを明らかにすることを目的としています。また、特に放射線照射によって生じる「DNA の傷」を修復するために働くタンパクの機能や関係する RNA の働きを調べて、放射線治療による治療効果や副作用に關係するか検討することを目的としています。

これにより、当院の患者さんに限らず、今後の肺がんの治療指針に寄与できる可能性のあるものと考えます。

2. 研究方法

1) 研究対象者

2020年6月11日から2022年3月31日までの間に、「肺癌放射線治療の治療効果および有害事象発症の予測に關与するタンパク機能、RNA 発現の解析研究」に参加された患者さん

2) 研究期間

病院長承認後～2027年3月31日

3) 症例数

上記期間中に研究に参加された方 19 症例（研究全体 100 症例）

4) 研究内容の追加

当初「自主臨床研究説明同意文書」を用いて説明した解析に加え、がん組織のタンパク質解析および末梢血リンパ球の RNA 発現解析を追加して調べます。

